

概要 : 基幹管路である老朽化したダクタイル鋳鉄管を耐震管に布設替した。
令和4年3月16日の福島県沖を震源とする地震では、登米市において震度6強を観測したが、布設替を行った水道管においては被害は生じなかった。

対策名 : 116 全国の上水道管路に関する緊急対策

府省庁名 : 厚生労働省

■ **実施主体** : 宮城県登米市

■ **実施場所** : 宮城県登米市

■ **事業概要** : 耐震管への布設替

配水管 口径 $\phi 200\text{mm} \sim \phi 400\text{mm}$

延長 $L=3,999\text{m}$

■ **事業費** : 全体事業費4.7億円 (R2年度)

(うち3か年緊急対策による事業費1.6億円)

■ **効果** :

基幹管路の耐震化を進めることで、効果的な管路の耐震化に努め、災害時の被害軽減が図られた。最大でおよそ22,600戸について、減・断水被害の防止効果があったと見込まれる。



耐震管の説明図

